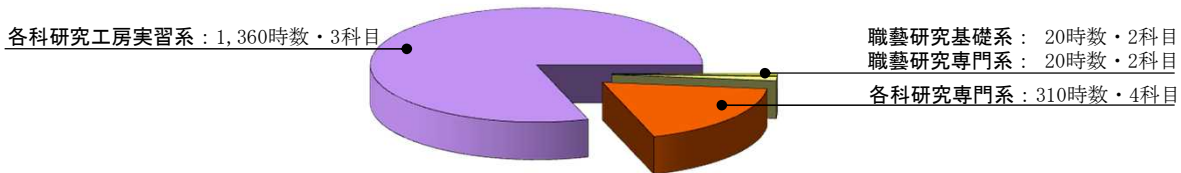


職藝学院 [研究科 授業概要]

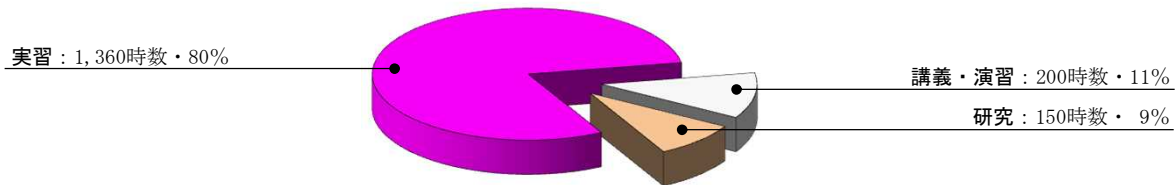
～ マイスタープログラム後期 ～

職藝教育は、「本科+研究科」の三年制マイスタープログラムで、職藝人としての実践的総合力を身につけます。
マイスタープログラム後期の「研究科」では、実践的総合力とより高度な技能や知識を身につけます。

【研究科 科目群別授業時間】 ～建築11大科目/環境11大科



【研究科 授業時間の構成】 ～計1,710時数/51.5単位～



研究科 授業科目群の目標

合科	基礎教育科目 職藝研究基礎系 2科目 / 1.0単位 (20時数)	<ul style="list-style-type: none"> ● 専門技術や専門知識の修得に魁けて、職藝人に必要な基礎的資質を高めます <p>心・技・体のバランスがとれた人格形成に資するため、人間としての生き方、職藝の心、日本文化の特質などについて学びます。</p>
	専門教育科目 I 職藝研究専門系 2科目 / 1.0単位 (20時数)	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境・建築の両者に共通する基礎的な専門知識や専門的感性を、合科で学び育みます <p>環境と建築の融合と共生のため、建築がわかる庭師・環境がわかる大工をめざし、両者の共通専門領域を、総合的な演習を交えながら合科で学びます。</p>
建築職藝研究科	専門教育科目 II 建築研究専門系 4科目 / 15.5単位 (310時数)	<ul style="list-style-type: none"> ● 本科での学習を土台に、応用ができる建築専門の高度な技能知識を学びます <p>建築系の研究工房に所属し、工房講師などの指導のもとで、伝統構法論や文化財修復などの高度な実践的技術知識を学び、併せてテーマ研究や職能研究などを行ってまとめます。</p>
	工房実習科目 建築研究工房実習系 3科目 / 34.0単位 (1,360時数)	<ul style="list-style-type: none"> ● プロの建築・建具・家具研究工房で、職藝人の技と心の実践的総合力に身につけます <p>学内外の建築・建具・家具工房において、プロのメニューとプロの時間割とプロの指導により、ものづくり作業全般に関する応用ができる実務技能と職人としての実務知識を学びます。</p>
環境職藝研究科	専門教育科目 II 環境研究専門系 4科目 / 15.5単位 (310時数)	<ul style="list-style-type: none"> ● 本科での学習を土台に、応用ができる環境専門の高度な技能知識を学びます <p>環境系の研究工房に所属し、工房講師などの指導のもとで、樹木医学を含む庭づくりの高度な実践的技術知識を学び、併せてテーマ研究や職能研究などを行ってまとめます。</p>
	工房実習科目 環境研究工房実習系 3科目 / 34.0単位 (1,360時数)	<ul style="list-style-type: none"> ● プロの造園・園藝の研究工房で、職藝人の技と心の実践的総合力に身につけます <p>学内外の造園・園藝工房において、プロのメニューとプロの時間割とプロの指導により、庭づくり作業全般に関する実務技能と職人としての実務知識を実践的に学びます。</p>



■職藝研究基礎系（合科）

授業科目		授業形式	授業時間		授業概要
科目	細科目		単位	時数	
職藝概論		講義	1	14	●研究科ナビゲーション。職藝学院の学習システム・評価システムを周知し、研究科における1年間の研究テーマとその進め方について研究工房講師と検討し、年間授業計画を作成します。
職藝の理念		演習		6	

■職藝研究専門系（合科）

授業科目		授業形式	授業時間		授業概要
科目	細科目		単位	時数	
特別講義		講義	0.5	10	●職藝の理念に関わる“環境と建築の関わり”や“日本文化”などのテーマについて、内外の特別講師から学ぶ。全学対象に行う研究科のテーマ研究発表も含まれます。
実践道場		演習	0.5	10	●「人と土の日」。ホモサピエンス(人類)やヒューマニティ(人間らしさ)の“homo-やhum-”は“土”を意味する。土とふれあい、人と交流して、ものづくり人の原点を探ります。

■建築研究専門系（建築職藝研究科） / ■環境研究専門系（環境職藝研究科）

授業科目		授業形式	授業時間		授業概要
科目	細科目		単位	時数	
実践ゼミ		研究	1.5	30	●専攻コース（建築、家具・建具／造園・ガーデニング）に関わる伝統技法や新技術・技能などのテーマについて、輪講などを含めて研究工房講師その他の指導のもとで学びます。
建築特論 環境特論		講義 演習	8	160	●建築・環境それぞれのより専門的内容を深めます。建築では伝統構法計画論・文化財修復論など、環境では樹木医学・樹木医関係論などを学びます。また実践的な設計やデザイン演習または調査・実測などを通して学びます。実践実習との選択。
テーマ研究		研究	4	80	●専攻コースや職藝人に関わる研究テーマを設定し、実験実習研究や実態研究・実作研究・文献研究などを研究工房講師等の指導を得て進める。成果は製作品や報告書などにまとめます。
作品研究		研究	2	40	●事前調査を経て、京都を中心に建築や庭園及び景観等を実地に見学研修し、日本の伝統的職人の技と心を学び、報告書にまとめます。

■建築研究工房実習系（建築職藝研究科） / ■環境研究工房実習系（環境職藝研究科）

授業科目		授業形式	授業時間		授業概要
科目	細科目		単位	時数	
建築実践実習 環境実践実習		実習	22	880	●学内外の研究工房において、建築、家具・建具／造園・ガーデニングの専攻別の実物教材を用いた就業実習で、設計から施工・完成まで又は維持管理などに参画して、建物づくりや庭づくりなどの作業全般の実務技能と関連知識、及び自ら応用ができる実践的総合力を学びます。
建築研究工房実習Ⅰ 環境研究工房実習Ⅰ		実習	9	360	●学内外の工房を実践現場とし、研究工房講師・校外講師等の指導で専攻コース別に、「実践実習」と連携する集中実習で学びます。実物の木造建築や建具・家具づくり／庭づくり・ガーデングづくりを教材とし、施工・製作や取付及び完成までを集中的に学びます。
建築研究工房実習Ⅱ 環境研究工房実習Ⅱ		実習	3	120	●研究科修了製作。3年間又は1年間の技能と知識・感性の集大成として、専攻コース別に修了製作を行います。自らのテーマによる設計・製作・組立を経て完成し、年度末の卒業進級制作展に公開展示し一般の評価を受けます。